

# ⑥【単年度】新技術を活用した公共空間の安全と防犯の確保に係る実証実験(大阪府枚方市)

## 1. 実験概要、留意すべき項目

- エンタメの視点を活用した空間デザインによるの投影を活用した夜間の交通安全対策(蓄光シートを活用した夜間の明かり確保)を検証する。
- 夜間の交通安全対策としてアニメーションを使用した取組事例は少ないため、参考事例となる可能性が高く、推奨すべき取組みとなること。

## 2. 実験内容、実験結果

### ① 青色蓄光標識デザインの設置

- ⇒計測開始直後の目視では発光もデザインも確認できたが、時間の経過と共に、暗闇に慣れた目であっても確認が困難
- ⇒対象道路を利用してみた所感について、道路周辺が明るくなった、安心であった、ワクワクし、楽しかったなど、ポジティブな回答割合が多い



設置状況



蓄光標識拡大写真

## 3. 意見と検討、対応方針

### 実験メニュー

改めて実証実験することがあれば、今度はどのようなデザインがよかったのか市民の方に感想を聞くのもよいかもしれない。  
転落防止にも効果があると考えられる。  
溝がある場所が明るくなることでの通行位置の影響について、今後機会があれば検証するのもよい。人間の習性から動線への影響は十分に考えられるため、例えば通行方向を守って欲しい場所での活用など、新たな展開が期待される。

本格導入を検討する際は、費用対効果を踏まえ、長期目線で考えた方がよいのでは。今回の技術を本格導入し設置していくのであれば、技術の性能を考慮した上で、設置する場所の優先基準を設定しておく方がよいのかもしれない。  
子どもが設置作業に参画できれば、安全教育に繋がるのでは。

設置前後の転落数はどのくらいか。

### 実験内容

最適な製品デザイン及びサイズを検証するとともに、企業において実装可能な製品開発に取り組む。  
転落防止対策や通行方向を守ってほしい場所での活用についても今後本格実施を検討する際の判断材料としたい。

本格実施を検討する際は、費用対効果や設置場所の基準を踏まえた上で判断していきたい。併せて、安全教育といった副次的な効果も判断材料としたい。

過去5年の消防による救助実績はなし。  
ただ、日時は不明だが過去に車両、自転車の転落事故はあったとの地元自治会役員からの証言は受けている。  
設置後の転落等の報告は現在のところ無し。

## ⑥【単年度】新技術を活用した公共空間の安全と防犯の確保に係る実証実験(大阪府枚方市)

### 4. 本格実施に向けた課題、今後の取り組み予定

課題	対応方針
費用対効果を考慮した上で、導入を検討する必要がある。	企業において社会実装に向けた製品の研究開発を進めていく。
蓄光と照明器具は異なるジャンルの発光技術であることを踏まえる必要がある。	企業において社会実装に向けた製品の研究開発を進めていく。
使用したい箇所とその周囲がどの程度の環境照度であるかを把握し、その照度環境で蓄光が効果的に使用できるかしっかり判断した上で設置場所を選定する必要がある。	企業において社会実装に向けた製品の研究開発を進めていく。

### 5. 今後のスケジュール

- R5年度以降 最適な製品デザイン及びサイズを検証するとともに、高度性能の持続性や製品の耐久性といった機能の担保についても検討し、企業において実装可能な製品開発への取り組み  
製品の実装に目途がたてば、設置施工技術の容易性、価格コスト・供給の安定性などの観点から、既存技術との比較検証や調査研究を実施

### 6. 制度改正、マニュアル作成、全国展開に向けた提案

- ・ 時間の経過と共に、暗闇に慣れた目であっても確認が困難という結果であったことより、設置場所の選定、蓄光の必要な時間帯、発光技術の差別化、製品仕様などを十分に理解し、導入を進めるための検討を行う必要がある。